

# 2022年度(第49回)山口県ジュニアゴルフ選手権競技 ローカルルールおよび競技の条件

開催日：2022年8月23日(火)・24日(水)

開催コース：宇部72カントリークラブ(阿知須)

本競技では、日本ゴルフ協会発行のゴルフ規則(2019年1月施行)と下記ローカルルールおよび競技の条件を適用する。ローカルルールと競技の条件の修正や追加については競技会場のインフォメーションにて確認すること。別途規定されている場合、または適用規則が明示されている場合を除き、本ローカルルールおよび競技の条件の違反の罰は一般の罰(2打罰)とする。ローカルルールひな型については2019年1月発効の「ゴルフ規則のオフィシャルガイド」および「2019ゴルフ規則の詳説」を参照すること(www.jga.or.jpで閲覧可)。

## ローカルルール

### 1. アウトオブバウンズ(規則18.2)

- 1) アウトオブバウンズ(OB)の境界は白杭のコース側を地表レベルで結んだ線によって定められる。
- 2) 現にプレーしているホールでのOBの境界を越えて、他のホールではインバウンズとなるコース内に止まったとしてもOBである。

### 2. ペナルティーエリア(規則17)

レッドペナルティーエリアは赤杭をもってその縁を標示する。

### 3. 異常なコース状態(動かさない障害物を含む)(規則16)

#### (a) 修理地

- 1) 修理地は青杭を立て、白線で囲まれた区域とする。

#### (b) 動かさない障害物

- 1) U字排水溝はジェネラルエリアの動かさない障害物として扱われ、ペナルティーエリアではない。
- 2) 人工の表面を持つ道路に隣接しているU字排水溝は、その道路の一部とみなす。
- 3) 電磁誘導カート用の2本の人工の表面を持つ軌道は、全幅をもってカート道路とみなす。
- 4) 舗装道路および電磁誘導カート用の2本の表面を持つ軌道とこれに接する裸地は、ひとつの動かさない障害物として扱う。ただし、その裸地は、脱輪等により裸地になったと思われるわだち程度の合理的な幅の部分とし、道路に接する広範囲にわたる裸地はこの限りではない。

#### (c) 地面にくい込んだ球

規則16.3は次のように修正される：球がバンカーの壁やへりの積み芝の面や土の法面にくい込んだ場合、罰なしの救済は認められない。

### 4. 不可分な物 次のものは不可分な物であり、罰なしの救済は認められない。

- 1) ペナルティーエリア内の護岸用の構築物

### 5. 球 このローカルルールの違反の罰：失格

ストロークを行うために使用する球は、R&Aが発行する最新の適合球リストに掲載されていないなければならない。

### 6. 用具の使用(規則4.3)

規則4.3(4)は次のように修正される：ラウンド中、プレーヤーはいかなる内容であっても個人のオーディオやビデオ機器を視聴してはならない。

### 7. プレーの中断(規則5.7) 次の信号がプレーの中断と再開に使われる。

「危険な状況ではない中断」：短いサイレンを繰り返して通報する。

「差し迫った危険のための即時中断」：1回の長いサイレンを鳴らして通報する。

「プレーの再開」：1回の長いサイレンを鳴らして通報する。

なお上記のほか、本部より競技委員を通じて競技者に連絡する。

### 8. 練習(規則5.2・5.5)

- 1) ストロークプレーのラウンド前、またはラウンドとラウンドの間の練習

規則5.2bは次の通り修正される：ラウンド前やラウンドとラウンドの間に、プレーヤーは競技コースで練習してはならない。

- 2) ホールとホール間の練習

規則5.5bは次のように修正される：終了したばかりのパッティンググリーンやその近くで練習ストロークを行ったり、球を転がすなど、パッティンググリーン面をテストしてはならない。

### 9. 移動 ラウンド中、プレーヤーは乗用カートに乗ることができる。

### 10. キャディー(規則10.3)

**12歳以上の部**：規則10.3は次のように修正される：プレーヤーはラウンド中、キャディーを使用してはならない。この違反の罰は、違反した各ホールに対して一般の罰を受ける。但し、本競技では各組に一人のコースガイド兼スコアラーを配置する。コースガイド兼スコアラーはキャディーではない。したがってクラブの持ち運びや規則に従って競技者を助けることはできない。

**12歳未満の部**：規則10.3は次のように修正される：プレーヤーは委員会によって指定された者以外をキャディーとして使用することを禁止する。この違反の罰は、違反した各ホールに対して一般の罰を受ける。

### 11. 後方線上の救済を受ける場合(詳細はローカルルールひな型E-12を参照)

後方線上の救済を受ける場合、プレーヤーが関連する規則によって求められる救済エリア内に球をドロップしたが、その球がその救済エリアの外に止まった場合、その球をドロップしたときに最初に地面に触れた箇所から1クラブレングス以内にその球が止まっているのであれば、追加の罰はない。この罰の免除は、球が基点よりホールに近い所からプレーされていたとしても、元の球の箇所や、球がペナルティーエリアの縁を最後に横切ったと推定した地点よりホールに近づいてプレーしていなければ、適用する。

### 12. 壊れた、または著しく損傷したクラブの取り換えについて(詳細はローカルルールひな型G-9を参照)

規則4.1b(3)は次のように修正される：プレーヤーのクラブを乱暴に扱った以外のケースでラウンド中にそのプレーヤーやキャディーによって「壊れた、または著しく損傷した」場合、そのプレーヤーは規則4.1b(4)に基づいてそのクラブを別のクラブに取り替えることができる。クラブを取り替える場合、そのプレーヤーは壊れた、または著しく損傷したクラブを規則4.1c(1)の処置を使用して、すぐにプレーから除外しなければならない。

### 13. 規則11.1b例外2に基づき、パッティンググリーンから行われたストロークを再プレーしなければならないケースの制限(詳細はローカルルールひな型D-7を参照)

規則11.1b例外2は、プレーヤーがパッティンググリーンからプレーした球が偶然に次のものに当たった場合には適用しない。そのプレーヤー、そのストロークを行うためにそのプレーヤーによって使用されたクラブ、または、ルースインペディメントとして定められる動物(つまり、ミミズ、昆虫や簡単に取り除くことができる類似の動物)。そのストロークはカウントし、球はあるがままにプレーしなければならない。

## 競技の条件

### 1. 参加資格 プレーヤーは本競技の参加資格の条件を満たしていなければならない。

**2. 最大スコア(規則21.2)** 本競技では、各ホールの最大スコアを、各ホールのパー数の3倍とする。各ホールにおいて、パー数の3倍の打数に達したプレーヤーは、そのホールをホールアウト出来なくても、そのホールでのプレーを終了し、次のホールに進まなければならない。その場合のそのホールのスコアは最大スコアとする。

### 3. タイの決定 タイの決定方法は、競技会場のインフォメーションに掲示する。

**4. スコアカードの提出** プレーヤーのスコアカードは、プレーヤーの両足が所定のスコアリングエリアから出た時点で委員会に提出されたことになる。

**5. 競技の結果ー競技の終了** 本選手権競技の結果は、競技委員長が成績表に署名した時点をもって終了となる。

## 注意事項

1. プレーヤーは指定のスタート時刻の10分前にはティーイングエリア付近に待機すること。

2. 使用ティーメーカーは、別紙「参加注意事項」を参照のこと。

3. グリーンに著しく損傷を与えるメタルスパイクシューズは使用禁止とする。

4. コース内への携帯電話の持ち込みを禁止する。

5. 危険防止のため、着帽のこと。

6. 委員会は競技中を含めいつでも、出場に相応しくないと判断したプレーヤーの参加資格を取り消すことがある。

7. プレーヤーにエチケット違反、または非行があった場合には、委員会は警告、制裁を課すことがある。また、重大な非行があった場合には規則1.2aに基づいて失格とする場合がある。

8. 9ホール終了後の待ち時間を利用しての練習はパターンのみとする。

9. 競技委員会は、天候の状況等により、競技を短縮もしくは延期することがある。 競技委員長 渡邊 芳雅